

入生田菌類誌資料 No.021

カモジグサ黒やに病菌

*Phyllachora graminis* (Pers.:Fr.)Fueckel

宿主：カモジグサ *Elymus tsukushiensis* Honda var. *transiens* (Hack.) Osada

子囊菌門 Ascomycota チャワソウタケ亜門 Pezizomycotina フンタマカビ綱 Sordariomycetes  
フンタマカビ亜綱 Sordariomycetidae クロカワキン目 Phyllachorales クロカワカビ科 Phyllachoraceae

供試標本

KPM-NC0016980, 2009年8月17日, 入生田紹太寺参道(下), 佐々木シゲ子・福井道子・赤堀千里採集.

肉眼的特徴

カモジグサの葉の組織内に生じ、成熟してくると黒ごま状の照りのある楕円形の菌体(子囊殻)が葉の表面に盛り上がってくる。病徴は葉全体に散生する。

顕微鏡の特徴

1子座中に1個(-2個)の子囊殻を形成する。子囊殻は、内径137-248 μm、球形から偏球形で、頂部に孔口を開く。子囊は、子囊殻の底部から側部に多数形成され、75.4-91.5 × 10-11.5 μm、円頭形である。子囊胞子は、8個が1列に並び、8.5-15.5 × 4.6-8.5 μm、楕円形から類球形で、平滑、無色である。子囊より長い糸状の側糸が多数ある。

ノート

イネ科植物やイヌビワに黒ごま状または黒やに状の病斑を形成する。

英名を Tar spot という。

参考標本

KPM-NC0015514, 2006年11月22日, 入生田, 出川洋介採集; KPM-NC0016944, 2009年6月26日, 入生田稲葉氏墓所(参道), 赤堀千里・佐々木シゲ子・小林美紀・福井道子採集.

文献

小林享夫・勝本 謙・我孫子和雄・阿部恭久・柿島 眞編, 1992. 植物病原菌類図説. p.108. 全国農村教育協会, 東京.

月星隆雄・吉田重信・篠原弘亮・對馬誠也, 2002. 日本野生植物寄生・共生菌類目録. 農業環境技術研究所資料, (26): 29.

担当：佐々木シゲ子  
監修：小林享夫



図1. 葉裏の病徴.

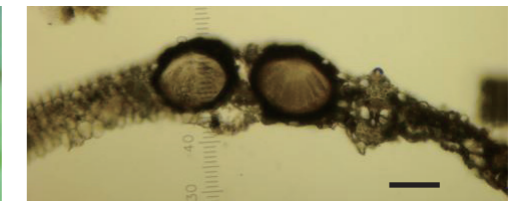


図2. 子座および子囊殻断面. bar: 100 μm.



図3. 子囊殻断面拡大(子囊, 側糸, 子囊胞子がみえる). bar: 25 μm.

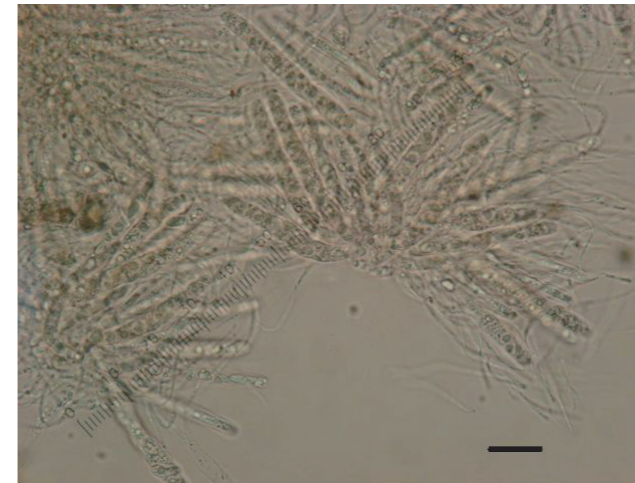


図4. 子囊, 子囊胞子と側糸. bar: 25 μm.

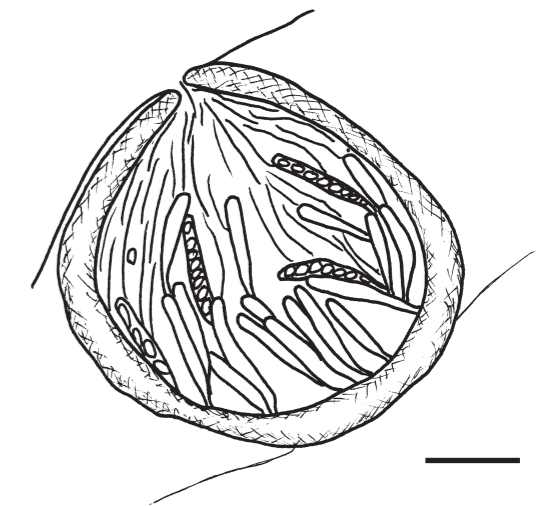


図5. 子囊殻断面拡大(子囊, 側糸, 子囊胞子がみえる). bar: 25 μm.



図6. 子囊, 子囊胞子と側糸. bar: 25 μm.

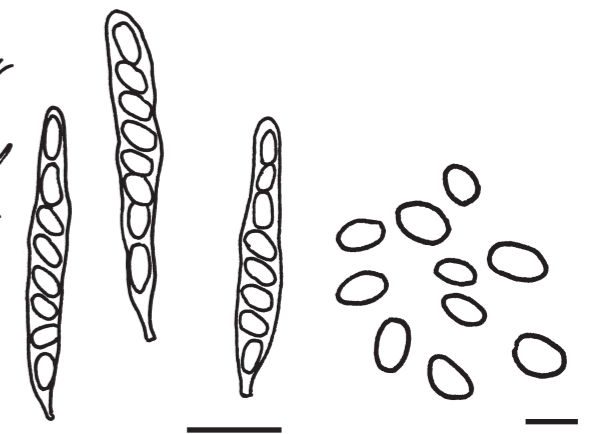


図7. 子囊と子囊胞子. bar: 25 μm.

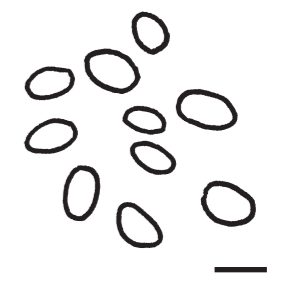


図8. 子囊胞子. bar: 25 μm.